

地域密着型サービス評価の自己評価票

(☐ 部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自のものは今のところありません。 ○	地域密着型のサービスの主人公は利用者であり、本人本位の支援、生きることを支援するという姿勢で、本人が今まで培ってきた家族や、地域社会との関係の継続を大切に、事業所も地域住民の一員として地域にとけ込み地域と支え支えられる関係を築き地域密着型サービスの理念として、全スタッフが理解できるよう今後取り組んでいきます。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	グループホームの職員は日夜より良いケアのあり方について取り組んでいますが、理念を共有し理念の実践についてはうまく取り組めていません。 ○	理念を共有し、今後理念の実践に向けて日々取り組んでいきます。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう今のところ取り組んでいない。 ○	事業所として、今後利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、面会などの機会に家族に理解していただけるよう話をしたり、地域の人々に理解してもらえよう区長会、民生委員会などの機会を通じて理解に努めています。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるようオープンにはしているが、特養の併設で、日常的なつきあいができていない。 ○	隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるような啓蒙活動にも努めています。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	夏祭りや、敬老会を通して地域の方と交流する機会はあるが、地域活動に参加する機会は少なく、地元の人々と交流は少ないと思います。 ○	夏祭りや敬老会などの交流だけでなく、事業所として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流も積極的に勧め、地域にとけ込めるように努めます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか今のところ取り組んではいない。	○	認知症ケアの実践など活かし、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか今後取り組んでいけるよう努めます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義を理解しているが、活かしかけていない。	○	今後評価を活かし、できるものから具体的に取り組んで行きます。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行なっています。そこでの意見をサービス向上に活かそうとしていますが、今のところ不十分な状態です。	○	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行なっていますので、今後もサービス向上に向けて、活かせるよう努力します。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会があります。介護計画の検証訪問など市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいます。	○	今後も利用者本位の暮らしができるよう、市町村、包括支援センタと運営推進会議等、行き来する機会をつくり、今後もサービスの質の向上に取り組んでいきます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について研修等もありますが、学ぶ機会がほとんどない状態です。	○	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度を必要とされる方は今もところおられませんが、今後研修など学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用し、支援できるよう努めます。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会が少ないが、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう常に細かなところまで気を配り、言葉かけ一つにも注意を払い、防止に努めています。	○	今後は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を設け、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に向けて、市町村、他事業所等とも連携し努めています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行なっています。	○	今後も契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っています。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せるよう苦情相談の窓口また、苦情相談解決体制が揭示してありますが、相談を受ける機会としてはまだ開催されていません。	○	利用者には意見や不満、苦情を言いづらいところもあったりするのでコミュニケーションを図りながら意見や不満などを言えるようにサポートし、今後の運営に反映できるように努めます。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、面会時近況報告を行ったり、お知らせを送付したりしています。	○	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、面会時近況報告を行ったり、お知らせを送付したりしています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せるよう重要事項説明書、苦情相談の窓口にも職員名が明示しており、また苦情相談解決体制が揭示してありますが、相談を受ける機会としてはまだ開催されていません。	○	家族の方には意見や不満、苦情を言いづらいところもあったりするので、ご家族等には意見や不満などを言えるように信頼関係を築き今後の運営に反映できるように努めます。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議及び毎月20日にある主任者会議で意見や提案ができる場を設けてはいるが、まだ不十分です。	○	職員会議及び主任者会議で意見や提案ができる場だけでなく、職員、管理者が気軽に提案できるような雰囲気作りも勧めていきます。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者や家族の状況の変化、要望があれば、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めています。	○	利用者や家族の状況の変化、要望があれば、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めています。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力はしていますが、代わる場合への利用者へのダメージを防ぐ努力は足りていません。	○	今後は、代わる場合への利用者へのダメージを防ぐ努力をしていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会の確保に努めているが研修や働きながらトレーニングしていく機会が少ないです。	○	今後、研修があれば積極的に取り組みスタッフの育成に努めます。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	合同運営推進会議や、認知症連絡協議会県西ブロックなどを通じ地域の同業者と交流する機会を持ち、研修等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしています。	○	今後も地域の同業者と交流する機会を持ち、研修会、勉強会等を行い、サービスの質を向上に努めます。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	毎月20日に会議を行い意見を出したりする場は設けていますが管理者や一般職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに対してはうまく取り組めていません。	○	今後は毎月20日に会議を行い意見を出したりする場は設けてあるので、管理者や一般職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに対してもテーマを決めて話し合ったりできるように取り組んでいきたいです。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績については把握していますが、各自が向上心を持って働けるように取り組めてはいません。	○	今後は勤務状況、勤務体制を把握し各自が向上心を持って働けるように取り組んでいきます。。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	実態調査時に本人の思いや不安、求めていることに傾聴し、入所後も本人からの要望や、不安を聴き受け止める努力をしています。	○	実態調査時に本人の思いや不安、求めていることに傾聴し、入所後も本人からの要望や、不安を聴き受け止める努力をしています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしています。	○	相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めています。	○	相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人に不安がないように、見学してもらったり、グループホームの雰囲気の場を体験してもらったり、サービスを利用するために、グループホームの雰囲気に徐々に馴染めるよう体験入所等も取り入れ、家族等と相談しながら工夫しています。	○	本人に不安がないように、見学してもらったり、グループホームの雰囲気の場を体験してもらったり、サービスを利用するために、グループホームの雰囲気に徐々に馴染めるよう体験入所等も取り入れ、家族等と相談しながら工夫しています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に過ごしながら、昔の話や、季節の行事など交え、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	○	一緒に過ごしながら、昔の話や、季節の行事など交え、喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者本人と同様、家族の方とも本人を通じ、連絡、連携し、また一緒にお茶を飲みながら本人を支えていく関係を築いています。	○	利用者本人と同様、家族の方とも本人を通じ、連絡、連携し、また一緒にお茶を飲みながら本人を支えていく関係を築いています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ここでの日常の生活ぶりを家族の方にお知らせなどにより伝えたり訪問の際に説明したりすることにより本人の事を理解していただけるよう支援はしているが不十分である	○	今後はここでの生活ぶりそして今後のことも含めてより良い関係が築かれるよう支援していきます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めています。	○	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めています。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	本人の性格、行動を把握し、利用者同士の関係がうまくいくよう、利用者同士が関わり合いを深め、支え合えるように努めています。	○	本人の性格、行動を把握し、利用者同士の関係がうまくいくよう、利用者同士が関わり合いを深め、支え合えるように努めています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、居宅などを通じて関係を断ち切らない工夫はしていますがグループホームのスタッフが直接関わるような付き合いはできていません。	○	今後は地域密着型サービスに位置づけられ他の市町村からの契約者の関係が特に希薄になるような気がしますが、居宅のケアマネジャー等を通じグループホームスタッフも関わられるような状況があれば積極的に関わって行きます。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。困難な場合は、本人本位に検討しています。	○	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めています。困難な場合は、本人本位に検討しています。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めています。	○	実態調査時に本人の生活歴、暮らしぶりや性格などこまめに調査し、また入所後も本人との会話の中で、新しい発見に努め本人の生活のために役立てるような本人把握に努めます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日中の状態、夜間深夜帯の状態など、その人の一日の過ごし方や健康管理による心身の状況、その人の有する力を総合的に把握できるよう努めています。	○	日中の状態、夜間深夜帯の状態など、その人の一日の過ごし方や健康管理による心身の状況、その人の有する力を総合的に把握できるよう努めています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人がより良く暮らすためにサービス担当者会議をしたり、課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合いますが意見や反映がまだ不十分だと思われます。	○	特に意思の疎通の困難な方の意見が反映しづらく、スタッフの思いや意見などから反映されがちなのでもう少し工夫していきます。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月に一度機関に応じて見直しをしています。また、状態が変化した場合には、話し合いを行い見直しを行なっています。	○	3ヶ月に一度機関に応じて見直しをしています。また、状態が変化した場合には、話し合いを行い見直しを行なっています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録、グループホーム日誌に記録していますが、実践や介護計画の見直しに活かしていません。	○	今後は実践や介護計画に活かせるようにしていきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援はできていません。	○	今後は事業所の多機能性を活かし、本人や家族の状況に応じ、本人や家族と話し合い、柔軟な支援ができるよう支援していきます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながらの支援はできていません。	○	今後は本人の意向や必要性がある場合、本人がより良い暮らしを続けられるよう各機関等と協力しながら支援の方法を検討していきます。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームにおいては他のサービス利用の支援はできていません。	○	本人の意向や必要性が生じた場合にはサービスの利用が可能かどうか検討していきます。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護等においてはまだ実践はありませんが、包括的、継続的なケアマネジメントの支援においては地域包括支援センターと協働しています。	○	権利擁護等においては知識不足もあるので連携を密にし総合的に支援ができるよう地域包括支援センターと協働していきます。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関を確保し、定期的に受診を行なうなど支援しています。	○	今後も本人の心身の状態を把握しつつ、適切な医療を受けられるように支援を継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援しています。	○	今後も専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援を継続していきます。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設施設の特養看護職員と協働し、日常の健康管理や医療活用の支援をしています。	○	今後も併設施設の特養看護職員と協働し、日常の健康管理や医療活用の支援を継続します。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	介護サマリーを渡すなど、情報の交換に努めています。また、入院した際、利用者を訪問するなど状態の確認をしています。	○	今後も医療機関と情報交換を行ない、利用者のために連携していきます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、入所時に説明していますが、かかりつけ医等との話し合いは、まだ不十分です。	○	重度化した場合や終末期のあり方について、家族等並びにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有し、本人の終末のケアまた、家族の精神的なケアや連携体制のあり方など十分な検討をしていきます。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいます。まだ、不十分です。	○	事業所の「できること・できないこと」を見極め、ご家族の意向や、かかりつけ医とともに連携し三者で協議を行なって今後もチームとしての支援に取り組んでいきます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めています。	○	今後も家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めていきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	○	今後もプライバシーの徹底に努めます。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	○	今後も本人が思っていること希望などを表せるよう支援をします。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	○	今後は一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援できるよう検討していきます。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	○	今後も家族の支援をもらいながら支援します。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	○	今後も利用者のできる力の範囲で一緒にしています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○	本人の嗜好により望むものがあれば支援していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握し、ほとんどの方がトイレで排泄できるよう支援しています。	○	排泄の失敗がないよう入所者の排泄パターンを把握し、気持ちよく排泄できるよう支援を継続していきます。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に合わせて入浴はできていません。	○	現在では職員側の都合による入浴になっているので本人の希望に沿って入浴できないか検討していきます。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人ひとりの睡眠の状況に合わせて支援しています。	○	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援を継続しています。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	気分転換を図るためにデイに遊びに行ったり、施設の知り合いに会いに行くなど支援しています。	○	今後もデイに遊びに行ったり、施設の知り合いに会いに行くなど支援を継続しています。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	今のところお金を所持している方はおられません。	○	今後は本人、家族と相談し一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援を検討していきます。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	事業所に広い中庭があり散歩など自由にできるが、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援はできていません。	○	今後は本人の希望にそって戸外に出かけられるよう支援を検討していきます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	普段行けない場所への支援は少ないですが家族の方と外食したり墓参りなどの機会はよくあります。	○	今後も普段行けない場所への外出や家族とともに出かけられないか検討していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙のやり取りができるような希望は今のところないが、家族や大切な人に本人自らが電話をしたりできるよう支援しています。	○	今後も本人より要望があれば通信の支援をします。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族の面会も多く気軽に訪問でき、居室でくつろがれています。	○	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう今後も支援していきます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なっていません。	○	今後も身体拘束しないケアに取り組んでいきます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は常に玄関を開放し、鍵をかけないケアに取り組んでいます。	○	今後も鍵をかけない工夫をしていきます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜通して安全面は常に配慮しています。	○	今後も昼夜を通して安全に配慮します。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしています。	○	今後も注意の必要な物品等については、保管管理を徹底し事故のないようにします。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいます。	○	今後も一人ひとりの心身の状況を把握し事故防止に取り組んでいきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急マニュアルがあり、急変や事故発生時に備え、緊急連絡体制はありますが、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っていない。	○	今後応急手当ができるよう看護師とも連携し、技術が習得できるよう検討していきます。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災訓練、避難訓練を実施しています。	○	災害はいつやってくるかわからないので、日頃より災害対策を心がけます。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	一人ひとりの現状、起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っています。	○	今後もリスクについて家族と話し合いを実施していきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	スタッフとの申し送りや情報の共有を図り、対応しています。	○	今後も体調変化の早期発見に努め、情報の共有を図り対応していきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬の一覧があり、薬の働きなどを確認し、薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めています。また服薬の支援と症状の変化の確認に努めています。	○	薬の目的や副作用、用法や用量については職員の理解に差がみられるので勉強会などを利用し、職員全てが同じように理解できるようにしていきます。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分は積極的に摂って頂くよう支援したり、できるだけ活動を勧め、散歩などを取り入れています。	○	今後も散歩など活動できるものを支援していきます。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	日常的に口腔ケアを必ず行なっています。	○	今後も清潔保持の為に口腔ケア支援を行います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取量は毎食後確認し、栄養のバランスにも配慮しています。	○	今後もチェック表を活用し一人ひとりの食事の摂取や水分確保の支援を継続していきます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル、医師の指示に従って実行しています。	○	今後もマニュアルや指示に従い感染症予防に努めます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器乾燥機、まな板殺菌庫の使用などそれぞれ衛生管理に努めています。	○	今後も食中毒予防のために職員に周知徹底を行い食材の管理に努めます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	行動障害の利用者の安全確保のために門扉に鍵がかかっていますが、日中玄関等は解放してあります。	○	今後は門扉をできるだけ閉めないように取り組んでいきます。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や出窓には季節の花を飾るなどして明るい雰囲気になるよう工夫しています。	○	今後も季節感の花を飾るなどして明るい雰囲気になるよう工夫しています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	要所要所にソファや椅子を置きゆっくり休んで頂けるよう工夫しています。	○	ほとんどの方がリビングで思い思いに過ごされますがソファの活用があまりみられないので置き場所などの検討を図ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫されている人もいますが、使い慣れたものは持ち込まれていない方もいます。	○	今後は家族とも相談しながら心地よく過ごせる居室の空間づくりに配慮していきます。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがなくよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気、温度、湿度には気を配っています。	○	今後も利用者の健康管理のために冷暖房管理、換気、加湿などに気を配ります。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部はバリアフリーで手すり等廊下や浴槽、トイレの便座周りに利用者のために配慮されています。	○	構造上の問題もありますが居室内でも身体機能に合わせて安全で自立した生活ができないか検討します。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	本人のできる範囲での力を活かして、混乱や失敗の防止に努めていますが、介助を多く必要とする利用者に対して、本人の力を十分に活かしていません。	○	介助を多く必要とする利用者に対して、残存機能があるのでできるだけ自立して暮らせるよう工夫していきます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭に芝生が植えてあり居室からも自由に出入りできる状態です。	○	今後は中庭を利用しレクリエーションを楽しんだり、外での食事会をしたり活動できるように工夫していきます。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
		○	②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
		○	④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
		○	②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)